

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AF206／家庭科教育論 (Introduction to Domestic Science)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	家庭科概論—教科「家庭」のとらえ直し		
担当者名 (Instructor)	増茂 智子(MASUMO TOMOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU2700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

これまで学ぶ側にあった学校教育における家庭科について、指導する側を意識した教科観・指導観等を培い、家庭科の面白さや大切さ等を探りながら、家庭科教育の役割をとらえ直すことができる。

Regarding what they have learned about home economics in school education up until now, students will be able to reconsider the role of economics in schools while developing subject philosophies and teaching philosophies, etc., through teaching, as well as deepening their appreciation for the interesting and appealing points of home economics.

#### 授業の内容(Course Contents)

前半は教科「家庭」に関する史的背景や学ぶ意義、および教科の目標や内容等を講義やアクティブラーニングを通じ検討し、後半はワークショップ中心に家庭科の魅力や課題等を検討していく。ワークショップでは、グループディスカッション、被服実習(手縫いやミシン縫い等)や簡易実験・調理実習等の体験学習、ロールプレイングやプレゼンテーション等を予定している。受講生が主体的に学べる機会を可能な範囲で多く取り入れる予定である。

In the first half of the class, students will consider the relevant historical background, significance of learning, class objectives and content of home economics through lectures and active learning, and the second half of the class will focus on workshops where students will consider the appealing points and relevant issues of home economics. The workshops will include group discussion, experience learning such as garment making (hand sewing and machine sewing, etc.), simple experiments and cooking practice, as well as role playing and presentations, etc. Students are expected to be able to broaden their range of subjective learning opportunities.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス (受講生の確認) 他
2. 家庭科教育の本質 (歴史、社会的背景、等)
3. 家庭科教育の目標と内容
4. 小学校家庭科の学習課題と学習指導要領の確認 他
5. 自然科学の視点からの家庭科教育(講義+ワークショップ:簡易実験の試みと試食等)
6. 社会・人文科学の視点からの家庭科教育・生活文化(講義+ワークショップ)
7. 家庭科の学習指導、家庭科におけるICTの活用 他
8. ワークショップ:家庭科の学習指導(ロールプレイングの試み) 他
9. ワークショップ:家庭科の評価について(グループ討論) 確認小テストの実施
10. ワークショップ:創作・製作活動・実習(前半)
11. ワークショップ:創作・製作活動・実習(後半)
12. 作品合評会、家庭科に関するテーマのプレゼンテーションにむけて
13. 家庭科に関するプレゼンテーション
14. まとめ 災害時の衣食住と家庭科教育(プレゼンテーション予備日) 他

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

前半は、講義でふれた内容についての復習、後半はワークショップおよびプレゼンテーションに向けた準備等がある。ワークショップについての準備には、たとえば創作・製作活動の製作プランと教材の準備、また授業時間内に製作活動が終了できない場合は授業時間外での完成が必須となる。プレゼンテーションは全員必須のため、興味のある家庭科に関するテーマについて積極的に調べ、検討し、表現(発表)してほしい。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

ワークショップへの取り組みと提出物(30%)/プレゼンテーション(30%)/授業内小テスト(40%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 文部科学省、2018、『小学校学習指導要領解説 家庭編』、東洋館出版社 (ISBN:9784491034669)

#### 参考文献 (Readings)

1. 日本家庭科教育学会、2019、『未来の生活をつくる 家庭科で育む生活リテラシー』、明治図書 (ISBN:9784180624249)
2. 池崎喜美恵、2020、『小学校指導法 家庭』、玉川大学出版部 (ISBN:9784472405815)
3. 生活の学びの研究会、2021、『生活からはじめる教育 コロナ禍が教えてくれたこと』、開隆堂 (ISBN:9784304021848)

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

教職科目(家庭科教育法)を履修する人は、できれば本授業も履修することを勧めたい。(可能ならば「家庭科教育法」履修前に)教科「家庭」への理解を深め、家庭科教育の役割と児童への指導・支援について教育法の授業だけでは補えないものをフォローしていく予定である。

#### 注意事項 (Notice)